

2015年2月23日

日本ユニシス 2次元カラーコード「カメレオンコード」付き扇子とコード読取アプリケーションを 静岡県で検証 - 静岡県の魅力を扇子とITの融合で外国人にアピール -

日本ユニシス株式会社(本社:東京都江東区、社長:黒川 茂、以下 日本ユニシス)は、2次元カラーコード「カメレオンコード[®]」(Chameleon Code[®])を印刷した扇子を静岡県と協働して作成し、静岡県の魅力を海外や訪日外国人観光客にアピールする支援をします。

今回、静岡県で検証するカメレオンコード付き扇子は、印刷されたカメレオンコードをスマートフォン用の専用アプリで読み取ると、富士山のライブ画像など静岡県の魅力を分かりやすく紹介する観光情報やコンテンツが表示されます。あおぐ、飾る、かざすといった本来の扇子としての機能と、静岡県の魅力をアピールするためのIT機能を併せ持つ、効果的な情報発信ツールとして期待されています。

静岡県は、県の海外駐在事務所や静岡県が参加する海外での観光展、商談会などのイベントで外国人を中心に配布する予定で、本アプリから情報へのアクセス状況を分析し、扇子のような日本の伝統工芸品が、今後増加していくと予想される外国人旅行者に対する新たな情報発信ツールになりうるかを検証します。

また、静岡県は都道府県ではじめてオープンデータカタログサイトを開設したオープンデータの先進自治体であり、この扇子事業をオープンデータの取り組みの一つとしても位置づけています。

扇子の表面にデザインされた富士山の写真は、静岡県が開設している、富士山の写真を誰でも自由に利用できるようにしたオープンデータサイト「富岳3776景」(<http://fugaku3776.okfn.jp/>)に投稿された写真を採用し、裏面のデザインも、オープンデータとして、誰でも自由に使用できるように公開します。

静岡県で検証するカメレオンコード付き扇子

【表面】



【裏面】



【カメレオンコード(サンプル)】

扇子を利用した IT の取り組みとしては、自民党の IT 戦略特命委員会が、2020 年世界最先端 IT 国家の具体像に関する提言として公開している「デジタル・ニッポン 2014」の中で、「スーパー扇子」を掲載しています。スーパー扇子とは、IC チップを内蔵した扇子型のデバイスのことで、来日した外国人旅行者は、この扇子に紐付けられた ID で、情報取得、東京オリンピック・パラリンピック（五輪）観戦、電子マネーとして交通費や買い物の支払い、公衆無線 LAN への接続に利用するというものです。

日本ユニシスは、この提言に賛同し、携帯性に優れ日本の伝統美と実用性を持ち合わせたお土産として、外国人観光客に常に高い人気のある扇子の高付加価値化を目指して、IT との融合に取り組みます。また、他社に先駆け「二次元コードまたは IC チップ付き扇子」として、実用新案の登録を行っています。

今後も日本ユニシスは、自治体や各種関連機関とも連携しながら、より一層の増加が予想される訪日外国人旅行者向けに新しいサービスを展開していきます。

以上

注：カメレオンコード

カメレオンコードは、シアン・マゼンダ・イエロー・ブラックを基本色とした、高速で高精度の複数同時認識が可能な 2 次元カラーコードです。QR コード®のように接写する必要がなく、離れた場所からスマートフォンなどの端末をかざすだけで現在位置などの情報を読み取ることができます。

Chameleon Code は株式会社シフトの製品であり、株式会社シフトの登録商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

関連 URL

- ・「富岳 3776 景」 <http://fugaku3776.okfn.jp/>
- ・「ふじのくに」（静岡県公式ホームページ） <http://www.pref.shizuoka.jp/index.html>
- ・「デジタル・ニッポン 2014」 <https://www.jimin.jp/news/policy/125527.html>

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。